

来年2月の2019年度入学試験で仙台に試験会場を設けることを周知しようと、小樽商科大のマスケットキャラクター「商大くん」



仙台市の藤崎百貨店前で通行客に小樽商大をアピールする商大くん

樽商大入試 仙台で受けて マスケットキャラ現地でPR

が7、8の両日、仙台市の百貨店前で小樽物産展への集客も兼ね、大学のPRを行った。

同大は過去に東京で入試を実施したことがあるほか、最近2年間は青森市にも会場を設けたが、道外出身の学生の比率は5%程度。22年度には同じ道内国立大学の帯広畜産大、北見工業大と運営法人を統合する予定で、道外から学生を呼び込んで活性化させようと、初めて来年2月25日に仙台に入試会場を設ける。

7日に仙台市の老舗、藤崎百貨店前に登場した商大くんは、商業などを象徴する「ヘルメスのつえ」を持ち、大学名を記したタスキをかけた姿。注目度は抜群で、一緒に記念写真を撮る若者の姿も見られた。

同百貨店では7日から、45店舗の逸品を集めた「第11回小樽の物産と観光展」を開催。小樽商大の竹下欣吾入試室長は「強力な小樽ブランドの物産に負けないように、大学をPRしたい」と意気込んでいた。

(平原雄一)



▽藤崎本館で7、17日に開かれる「第11回小樽の物

本社 来訪

6日

産と観光展」を、2018ミ
 スおたるの村上千草さん
 (23) 写真左と、小樽商
 科大のキャラクター「商大
 くん」 写真右がPRし
 た。

食品や工芸の計45業者が
 出店。海産物たっぷりの「ホ
 セイ丼」や地元で人気の「冬
 のプリン大福」などに加え、
 イートインでは、みそラー
 メンと小樽市民のソウルフ
 ードとされるあんかけ焼き
 そばが味わえる。

村上さんは「地元で愛さ
 れている食べ物がそろつ
 た。ぜひ訪れてほしい」と
 呼び掛けた。